

労災かわらばん

2004
一春号一

Vol.13 発行日／平成16年3月15日 編集／釧路労災病院新聞局



常勤の泌尿器科医師3名、看護師3名です。一般診療は月～金曜

「地元には泌尿器科がなく、通院が大変だ」

高齢の方や遠方の方のために、他院との連携を重視しています。

治療方針が定まつた後は、かかりつけの先生と連携をとつて便宜をはかります。遠慮なくお申し出ください。

「泌尿器科外来の体制は？」

現在血液透析患者さんは約50名、また連続携行式腹膜透析（C A P D）患者さんは14名です。総合病院の透析室として、入院治療中の患者さんや重い合併症のある患者さんが多くおられます。

「どんな病気で透析が必要になるのか？」

そんなことはありません。技術の進歩によって、透析の合併症はぐんと少くなりました。透析を開始して30年以上も元気な方もおられます。現在の透析療法は、單なる延命治療ではありません。できるだけ健康時の生活に近づくことが課題になっています。

「透析を受けるようになつたら人生も終わりだと言うが？」

そのため、厳しい自己管理が必要になります。糖尿病は軽いうちにきちんと治療するようにしましよう。他には慢性腎炎・動脈硬化症などが進行して透析が必要になることがあります。

「どんな病気で透析が必要になるのか？」

最も多いのは糖尿病（糖尿病性腎症）です。糖尿病では他にも合併症が起る

外来紹介
Part13

患者様に
やさしく

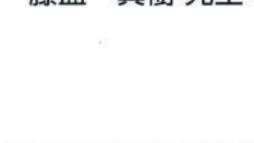
村雲 雅志
泌尿器科



米川 元晴先生



藤盛 真樹先生



南 盛一先生



枚村 和代先生



柳原 教先生



柳原 教先生

柳原 教先生

</